

第 17 回世界地震工学会議にてセッションオーガナイザーを務めました (2021/9/29)

テーマ：震災復興, 都市再生, WCEE の歴史
場 所：仙台国際センター, Zoom オンライン
URL：<http://17wcee.jp>

2021 年 9 月 28 日～10 月 2 日にかけて、仙台国際センターにおいて「17WCEE: 17th World Conference on Earthquake Engineering」が開催されました。本会議は、世界各国の地震工学関連の専門家が集結し、地震災害の軽減に向け、耐震・防災技術や社会制度など、ハード・ソフト対策の両面から議論することを目的とした国際会議です。1956 年から 4 年に一度開かれ、今回は新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、昨年から約 1 年延期となつての開催でした。

当研究所の村尾修教授（国際防災戦略研究分野）は、スペシャルセッションのひとつとして「Post-Earthquake Urban Evolution 1906-2020 with the History of WCEE」を企画し、オーガナイザーを務めました。また同時に「An Overview of Earthquakes and Urban Regeneration 1906-2020」と題して、1906 年のサンフランシスコ地震および 1956 年の第 1 回 WCEE から現在までの流れを振り返り、地震による都市災害から再生に至る過程や時代による社会の変化と進化について講演を行いました。

当セッションのスピーカーと講演内容は、以下の通りです。

- 村尾修 教授（国際防災戦略研究分野）
「An Overview of Earthquakes and Urban Regeneration 1906-2020」
- 目黒公郎 教授（東京大学生産技術研究所／国際防災戦略研究分野 特任教授（客員））
「Misunderstandings on Countermeasures for Earthquake Disaster Reduction, and Comprehensive Disaster Management System -Importance of Damage Mitigation Measures-」
- 五十嵐太郎 教授（工学研究科）
「City of “Invisible Earthquake”」
- 姥浦道生 教授（工学研究科／空間デザイン研究分野兼任）
「Recovery from the Great East Japan Earthquake」
- 泉貴子 准教授（国際防災戦略研究分野）
「Progress of the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction and its impact on Future Development」



司会を務めた村尾教授



スピーカーの様子

文責：村尾修（国際防災戦略研究分野）